

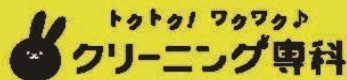


湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ2025

少年男子 4年連続の決勝進出 2年連続の準優勝！

成年男子 2大会連続出場

supported by



株式会社プロテリアル



香陵住販(株)



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ2025

「わたSHIGA輝く国スポ2025」が、
令和7年10月3日(金)～7日(火)に滋賀
県大津市を中心に開催され、
本県少年男子チームが
4年連続の決勝進出
2年連続の準優勝
という快挙を成し遂げました。



活動レポート

2025年10月

TOPIX

初戦の大阪府戦は、大会初戦の緊張感からか難しいゲームになりましたが、ディフェンスで踏ん張って57-48のロースコアで勝利。準々決勝の福井県戦は、第1、第3Qにオフェンスが爆発して83-66で快勝。茨城国体から5大会連続のベスト4進出を決めました。

準決勝は、強豪静岡県を倒して勝ち上がってきた小兵軍団佐賀県。小気味よい攻めと統率の取れた激しいディフェンスが特徴の好チームです。第1Q、第2Q、佐賀県チームの勢いに手こずりながらも高さの利を活かした形で37-29とリードを奪います。後半、ディフェンスの強度を上げ、オフェンスリバウンドにも粘り強く絡み続ける佐賀県に対し、その勢いを止めきれず追い上げられる場面もあった本県チームでしたが、第3Q、第4Qとじわじわとリードを広げることに成功。最終スコア80-67で4年連続の決勝進出を決めました。



supported by



株式会社プロテリアル



香陵住販(株)



活動レポート

2025年10月

TOPIX

昨年と同カードになった決勝。宿敵福岡県との対戦です。開始早々、能力全開で点を取りに来る福岡県チーム。本県チームは、組織的守備、効果的な3P等で必死に食らいつき16-22の6点ビハインドで第1Q終了。第2Q、ターンオーバーが続き、21-30となったところでタイムアウトを取り、立て直しを図る本県チーム。福岡県の得点を止めるのは難しいものの、粘り強いオフェンスリバウンドや組織的な守備で食い下がり、38-42と差を詰めてハーフタイムを迎えます。第3Q、マッチアップを変えて本県チームのリズムを崩した福岡県が、ツボを押さえたディフェンスで本県チームのオフェンスを完全にシャットアウト。その間も福岡県は順調に得点を伸ばし、このクォーターだけで16点、トータルで20点のリードを許すこととなります。最終第4Q、落ち着いてゲームをコントロールする福岡県に対し本県チームは必死で食い下がりますが、点差を詰めるには至らず。最終スコア64-85でゲームセット。破れはしましたが、その闘いぶりは胸を張れる素晴らしいものでした。



supported by



株式会社プロテリアル



香陵住販(株)



今年の茨城県少年男子チームも魂のこもった素晴らしいチームでした。「パスがディフェンスの手にひっかかった」「フアンブルした」など、ルーズボールになったりミスになったりしかねないケースでも、簡単にプレイをやめずに次のプレイにいち早く反応し、「ミスをミスにしない」という場面が随所に見られました。3Pや巧みなボールさばきが目立つチームでもありましたが、球際の強い、地味なところに凄みを感じさせるチームだったと言えます。

堂々の準優勝。自チームの活動やプライベートの時間を削って茨城県選手団として参加し、素晴らしい結果を残してくださった選手の皆さん、スタッフの方々、本当にお疲れ様でした。心からの感謝、そして敬意を表します。



